

授業科目 (ナンバリング)	臨床生理学実習 (N4E329)			担当教員	隈 博幸・太田 一寿・小川 由起子 高崎 伸也・波多江 日成子・松下 博昭		
展開方法	実習	単位数	1 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
これまで医学系・治療学系科目の講義で学んだ知識を基に、検体検査及び生理機能検査に関する実習を行い、人体の示す種々の生理現象と生体機能に関して理解できるようになる。また、データ解析及びディスカッションを通じて、生命活動の維持に関する様々な現象について考察できるようになる。							①②③⑦⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	(1)生体内で起こる化学反応について、その生理的意義を説明することができる。(2)疾患時に生じる異常反応の原因と関連する検査値の異常について説明することができる。				・実習試験	20%	
情報収集、分析力	(1)生体内で起こる化学反応について、その生理的意義を説明することができる。(2)疾患時に生じる異常反応の原因と関連する検査値の異常について説明することができる。				・課題レポート ・実習態度・実習への参加度	40% 10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	(1)実験で得られた数値を基に、考え得る疾患を推測することができる。(2)異常値が得られた際に、なぜそのような結果が出たのか考察することができる。				・課題レポート ・実習態度・実習への参加度	20% 10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
テーマごとに提出されるレポートの評価及び出席状況、実習態度、実習試験の結果等を基に総合的に評価する。レポートの提出期限は、初回の概要説明時に示すこととし、期限を過ぎた後に提出されたレポートは、原則として受理しない。レポートに関するフィードバックは、実習中に口頭で適宜行う。							
授業の概要							
少人数(3～5人)のグループに分かれて実習を行う。実習テーマは次頁のとおりであるが、検体準備等の都合上必ずしも順番通りになるとは限らず、グループごとに定められた実習日程、内容に従って各テーマの実験を行う。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分です。							
教科書・参考書							
教科書：臨床生理学実習テキスト(配布) 参考書：標準臨床検査医学(第4版：医学書院) 指定図書：薬学生のための臨床化学(南江堂)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
個々が積極的に実験に参加し、実りある実習にしてほしい。そのために、実習前にテキストを熟読し、各テーマの目的・手技を理解しておくことが望ましい。また、ディスカッション・レポート作成により、「得られた実験データが何を意味しているのか」を考えられる実力をつけて欲しい。 ※オフィス・アワー：特に設定していないが、質問等は基本的に在室中はいつでも可能(薬学研究棟 P210：隈、P101：太田、P202：小川、P209：高崎、L204：波多江、L304：松下)である。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習	到達目標番号*
1	実習の概要	実習で行う各テーマの内容説明及び諸注意 (隈)	—	580
2	血液検査 (1)	赤血球数、ヘマトクリットの測定及び測定データについてのディスカッション (小川)	配布された実習書で 実験 1-2, 1-4 を予習し、 血液疾患について まとめておくこと	582
3	血液検査 (2)	血液像、赤沈の測定及び血液検査に関するディスカッション (小川、隈)	配布された実習書で 実験 1-1, 1-3, 1-5 を 予習すること	582
4	血液生化学検査 (1)	総蛋白、アルブミン、A/G 比、脂質、リポ蛋白の測定 (波多江)	配布された実習書で 実験 2 について予習し、 生化学検査と疾患の 関係を理解しておくこと	583
5	血液生化学検査 (2)	非蛋白窒素及び血液生化学検査に関するディスカッション (波多江)	配布された実習書で 実験 2 について予習 すること	583-84, 593
6	尿検査・バイタルサイン	尿沈渣、尿糖、尿潜血、体温、血圧、脈拍の測定、未知検体の測定値とデータに基づく疾患の推測・ディスカッション (高崎、松下)	配布された実習書で 実験 3, 実験 4 を予習 すること	580-81, 650
7	肺機能検査・心電図	呼吸機能 (肺活量、1 秒率) の測定 心電図、運動負荷 (隈、太田)	配布された実習書で 実験 5, 実験 6 につい て予習すること	585-86, 635-37, 655-657
8	ディスカッション 実習試験	実験結果に関する総合的なディスカッション および筆記試験 (担当者全員)		587-88

注) 上記の第 1 回～第 8 回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SB0 番号/項目対応表を参照して下さい。

実習サポート助手：高島 啓吾